

事業所名		公表日		利用児童数		回収数	
こぼんはうすさくら 浜松丸塚東教室		2026.02.20		20		17	
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	1	1	家具をどけることで安全に体を動かせるスペースだと思います。 室内の広さを十分に整理されているため子どもがのびのびできると思います。 園庭はないが、水遊びをするスペースがあり、定期的に公園などの広い場所での活動があるため、十分だと思います。 人数に対して広さも部屋数も少ないように感じます。	利用人数が多い時は人数を分けて活動したり、子どもの動きや活動に応じて環境を整えるようにしています。 体を動かせるように公園やプールなど地域の施設を活用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	4	0	1	常に先生が近くにいるので安心しています。 痙攣等個別に対応が必要なときもきちんと職員がついてくれていると思います。 活動中の細かい様子などもお迎えの際に伝えてくださるので、十分職員がついていると思います。 活動の様子をしっかり見れていないためわかりません。 言語・心理などの専門の先生が各教室1人います。	活動の様子をリトムや写真、SNSなどで多く発信していけるように努めています。 また、定期的な面談以外にも希望があれば見学や面談を行っています。 他教室の専門職の方とも支援について共有していき、支援を広げていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2	0	1	余分なものではなくロッカー、椅子、机と所定の位置があり子どもたち自身で必要な動きが取れる環境だと感じます。 活動の様子をしっかり見れていないためわかりません。	定期的な面談以外にも、見学や面談を行っております。
適切な支援の提供	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2	0	1	部屋も綺麗な状態だと思います。 清潔にされていると思います。 事務所内も整理されていてよいと思います。 活動の様子をしっかり見れていないためわかりません。	定期的な面談以外にも、見学や面談を行っております。
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	1	定期的に何が足りないか、何が伸びているか的確に見ていただけて学ばせていただいているので子どもの成長を感じます。 不安や緊張の表現の仕方やこだわりなど子どものことを理解し、その子に合った声かけや誘導、寄り添いをしていると感じます。 透明の先生が目を合わせています。	他教室の専門職の方とも支援について共有していき、支援を広げていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1	0	3	プログラムのおかげでたくさんのがでできるようになり成長を感じます。 支援プログラムがどこに書いてあったか忘れてしまいわかりません。 でも、子どもの課題、目標、支援計画など計画書でいただいているので個別の支援内容とは合っていると感じます。	支援プログラムについて利用予定表などに明記するなどわかりやすい工夫を検討していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	2	子どもの状況に沿った支援を考えてくださっていると思います。 面談で子どもへの対処や改善を話し合いそれに基づいてしっかりと作成していると思います。	引き続き、面談にて話し合い子どもと保護者のニーズをもとに児童発達支援計画を作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1	0	0	面談で話し合った内容をしっかり反映していると思います。 こちらが不安、疑問なことに対して十分な回答がないことがあったと思います。	不安、疑問点が残らないよう面談等で具体例付きなどで丁寧に説明していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0	更新で振り返るときに、支援と子どもの様子の変化が分かるように記載していると思います。 子どもの気分にもうがあるのでもいつも計画通りにはいかないと思います。	引き続き、個別支援計画をもとに支援を行い、随時保護者の方へも支援の内容の共有など行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	0	発達に応じて実施されていると思う。 子どもが嫌いな勝ち負けのある遊びやルールのある遊びなどを定期的に行っている。	引き続き、様々な遊び・製作を行っていくよう、職員間でさらに意見を出し合いより良い活動に繋げていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	1	4	他の園に遊びに行くなどは聞いたことがないですが、すぐ近くにある丸塚教室との交流はあると思います。 子ども達がみんな交流しているかはわかりません。	現在、戸外活動先でのふれあいのみになっています。今後、交流の機会が設けられたら繋げていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	1	0	十分に時間を取っていただき丁寧に説明していただきました。 方針変更の際に説明が不十分なことがあったと思う。	変更点があった場合には、どの職員も説明ができるよう体制を整えていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	1	特性や普段の様子を踏まえて、書面を見ながら説明してくれました。	今後も個人面談や送迎時に書類を確認していただきながら、説明を行います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	3	3	講演会の開催はありましたが、仕事の都合で参加できませんでした。 今年度はなかった。	今年度、ファミリーコンサートと講演会のみと少なかったかと思います。今後、保護者の方の情報共有の機会を増やしていきたいと思っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	2	0	0	送迎時やリトムで情報共有できていると思う。 活動の様子や体調など細かくお迎えのときにもいつも伝えてくれると思う。 こちらからの問いかけに対して返答がないときもあります。	受入れ時に、お子様、ご家族の健康状態等を共有させていただき、職員間で共有していきます。また、教室内での様子も引き渡しの際にお伝えさせていただきま

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	0	面談や普段の送迎で話す機会があるときに支援してくれました。	個別支援計画更新の際の面談以外にも、保護者の方がお話したいと思った時に面談が出来るよう、引き続き、環境を整えていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	1	いつも寄り添ってくださっていると感じます。子どもと同じ目線で楽しんでいる、職員の笑顔が見られることが多いと感じます。	引き続き、お子様の「楽しい!」「またやりたい!」という気持ちを引き出していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	5	4	参加できなかったが、楽しそうなイベント開催がありました。	様々なテーマに合わせた交流会ができたら良いなど計画していますので、是非参加して頂きたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	1	1	朝や連絡帳で伝えたことをすぐに対応していて不安なく過ごせています。	引き続き、職員間で共有し迅速に対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2	1	0	リトムや送迎の際に1日のできごとを教えてくださいました。プリント配布、電話連絡、送迎の声かけなど配慮いただけていると思います。 意識したことがなくわかりません。	引き続き、お子様や保護者の方から得られた情報を職員間で共有してきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	0	1	SNSや定期的に発信されていたり、紙媒体で頻度よく連絡してくれたりしています。もらえている項目もあるがもう少し情報がほしいです。	年度の途中より写真の公開を開始しました。引き続き、Instagramやえんフォトを通して活動の様子をお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	2	きちんと守っていると思います。普段のお話や事務所に行ったとき他の子供の個人情報に気をつけていると感じます。 わからない。	引き続き、個人情報の取扱いに気をつけてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	0	6	避難訓練は定期的に行っているがその他のマニュアルは分かりません。問題ないと思うが具体的な説明があったか不明です。	面談のタイミング等でどのようなマニュアルを策定しているのか、お伝えできる機会を設けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	0	1	定期的に避難訓練を行っていると思います。	様々な災害を想定して防災訓練、防災学習を取り入れていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	4	送迎時や施設の玄関の開閉時の安全配慮など気をつけていると思います。子どもの行動が予想できないので十分には難しいと思います。 把握していません。	引き続き、安全面には十分気をつけながら支援してまいります。また、様々な行動パターンを予想しながら危険箇所などの把握を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	4	軽いけがやトラブルでも報告していただいている。一人ひとりを見きれず子どもから怪我の報告をされることがある。 まだ怪我等がないのでわかりません。	小さな怪我でもどの職員が説明できるよう、職員間で共有していきます
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	1	職員の顔を見るときいつも笑顔になり安心して通うことができていると感じます。職員や友達のことを楽しそうに話してくれます。	引き続き、明るい挨拶などを心掛けながら子どもたちと関わっていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	0	笑顔で帰ってくる人が多いので楽しいと思います。行き渋ることもあるが迎えのときには笑顔で今日何をしたのか教えてくれます。	お子様の「楽しかった!」が聞けることが職員も日々の支援の活力へ繋がります。今後も様々な活動、イベントを計画していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	寄り添った支援をしていただき、安心していつも助かっています。月々の支払いが引き落としになってくれたらもっと嬉しいです。	保護者の方のご理解、ご協力に日々感謝しています。引き続き、安心して預けて頂けるよう日々精進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こぼんはうすさくら 浜松丸塚東教室		2026.02.20				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	ロッカーを移動したことでより広く使えるようになりました。全員を見渡せるようなスペースになっています。	廊下以外で落ち着く場所や話す場所を設けられるよう空間づくりを工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	放デイ・児発の職員が声をかけあってサポートしあえています。	職員が1対1で付く必要のある児童が重なる職員配置数は足りないと感じています。支援が重なる場面での体制づくりを進めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	幼児用のトイレや手洗い場があり、身辺自立しやすい環境になっています。情報伝達は絵カードなどを使用し、視覚的にわかりやすいように工夫しています。	階段や玄関周りの角があるため、ぶつかった時など怪我に繋がらないよう対策をしています。クールダウンするスペースなどの空間づくりを工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の掃除、アルコールなどでの消毒を実施しています。危険な物が落ちていないか確認をしています。活動によってパーテーションを使用します。	ハンカチを付ける洗濯/バスマなど衛生面が気になる点を見直し改善していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じてパーテーションを使い区切ったり、部屋から出て個別の空間を使ったりしています。1,2階をそれぞれいない時間帯に活用しています。	クールダウンのスペースがもっと設定できるよう空間づくりを工夫していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	終礼、担当者会議を行っています。職員で一人の児童について話し合い、現状や目標、振り返りを行えています。	報告に加え、改善策まで話し合うよう振り返りの質の向上につなげていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価表をまとめ職員に周知し、改善案を出してもらっています。	いただいた意見をもとに改善策を話し合い、今後の改善に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	目標管理シートを使用し随時面談を行っています。また、月初めに児発管でのミーティングを行い、児発・放デイでの情報を共有後、現場の職員にも共有しています。	提案が実行につながる仕組みづくりを整えていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	外部からの助言を参考にしながら支援の質の向上に努めています。	第三者の視点を継続的に取り入れ改善に繋げていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	交代で研修に参加しています。研修に行った人はその後内容をまとめ、参加していない職員に情報共有する時があります。	研修内容を現場で実践できるよう、今後も情報共有を継続していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	担当者会議を行いその子にあった支援の仕方の意見交換をしています。一人一人の目標を都度確認し、活動内容を決めています。	発信方法を見直ししながら理解しやすい情報提供を進めていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	面談を行い、保護者の方の困りごとや頑張っしてほしいところなどの要望を聞き出し、計画に反映しています。	本人や保護司の思いをより丁寧に反映できる計画づくりを進めていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	モニタリング、支援計画作成時に話し合い、支援に関わる職員で意見を出し合い、共通理解する機会を作っています。	支援の意図をさらに共有し連携の質を高めていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別記録に記載された目標を日々の振り返り等で全体で共有し計画に基づいた支援を行っています。	今後も目標・計画を共有しながら計画に沿った支援を提供していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	年に1回現況調査票の見直しを保護者の方にしてもらい、子どもの行動について振り返る機会を設けています。	見直し後の調査票を職員間で周知できるとさらによいと考えています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2	全体でどのように支援をしていくのか、また対象の児童以外にも家族や今後について話あっています。	今後もガイドラインの内容をしっかりと把握するよう努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	職員同士で相談しながら児童にあったプログラムを検討できていると思います。動的活動と静的活動、様々な活動ができるようカレンダーを使用し、立案を行っています。	新しい活動を取り入れるときには職員間で共有しアイディアを出し合い、より良い活動に繋げていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	同じ遊びでもルールを変更したり、季節の行事にまつわる遊びを取り入れたり工夫しています。	様々な遊び・製作を行っていただけるよう、職員間でさらに意見を出し合いより良い活動に繋げていきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団活動ではルールや他児との関わり方、個別活動では集中して取り組めるよう支援しています。前の月に次月の活動を決めることで、全体の組み合わせのバランスが良くなるように工夫しています。	状況に応じた関わり方をさらに工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	ホワイトボードに活動内容や役割、児童に付く職員配置を記載後、全体で検討し必要があれば修正しています。	始業と児童の来所時間が一緒のため、確認が不十分にならないよう工夫していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日終礼で振り返りシートを用いて振り返りをしています。その日欠席の職員については、日報で確認ができるようにしています。	その日の振り返りのみではなく、環境設定や月の体操、歌など様々な支援方法をさらに検討・実践し振り返りより良いものにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	活動と生活にわけて記録をしているため、検証改善に繋がれていると考えます。	記録の分析支店を深め改善策をより明確にしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングをおこない、意見を出し合っています。	変化の背景まで丁寧に考え柔軟な計画修正をしていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管、専門職、その他の機関が参加し会議を進めることが出来ています。現場の配置を踏まえながら、児発管のみだけでなく、職員も参加するように心掛けています。	会議に参加した職員は、全体に情報を共有し今後の支援に繋げていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	児童のここと保護者のこことで何かあれば随時、保健師や園と連絡を取り合い、医療機関には手紙を書き、児童の情報を共有しています。	今後も関係機関と連携を強化し、迅速な対応に繋がれるようにします。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	園訪問や、電話で児童の様子を確認したり、併行利用の回数を調節したり、共通で行いたい指導について話合えていると思います。	情報交換の頻度を見直し、連携の質をさらに高めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	かけはしシートをもとに小学校に訪問し引き継ぎをしています。特別支援学校は事業所に様子を見に来ていただき、引き継いでいます。	移行時の不安軽減につながるよう連携を強化していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	3	他教室と合同の活動や、研修による関わりを持ち、適宜連携を図っています。	助言内容を共有し、支援方法の精度向上に繋がっていきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	保育園など上記の施設との関わりはないですが、系列の他教室とは一緒に活動する時があります。外出先の公園でほかの児童と触れ合う機会がありますが、頻度は少ないです。	地域との接点をさらに広げ、社会参加の経験を豊かにしていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡ノートや送迎時に子どもの様子を積極的に共有しています。困りごとやできたことを報告し合い共通理解を持つことが出来ています。	対話の機会を増やし、双方向の理解をより深めていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	研修についてのちらしを入れて情報提供をしています。	今後も不安軽減に繋がれるよう、継続して情報共有をしていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	見学、入所時、送迎時など適宜丁寧に説明しています。	説明内容の分かりやすさを都度見直し、理解の向上に努めています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	自分で答えることが難しい子供でも、イラストを用いて子供の意見を自分で選べるよう工夫しています。保護者の意見も聞きながら、最善の利益になるよう意向を確認する機会を設けています。	今後も面談で丁寧に話を聞きながら、意向確認をするよう努めています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	送迎時や状況に合わせて電話で書類を見ていただきながら説明し、同意を得ています。	納得したうえで同意していただけるよう、説明の仕方を工夫していきます。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談があった際は、送迎時や電話等ですぐに対応しています。また、時間が必要な時は面談を行っています。面談以外にも、送迎時モニターで子どもの様子を確認しながら保護者の悩みを聞いたり、難しければ電話で悩みの相談を行っています。	安心して相談できる環境づくりを継続して強化していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	保護者同士での交流の機会は設けていません。	今後同じ悩みを持っている保護者同士などは交流できる機会を設けていきたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	相談や申し入れがあった場合には職員で情報共有し家族にもその後の対応が出来ていると思います。	ご意見の受付から対応までの流れを整理し迅速に改善・反映できるよう見直していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	インスタグラムからイベントの様子を配信しています。また、写真販売の業者に入ってもらい、2ヶ月ごとに活動の様子をアップしています。写真購入の有無に関わらず全員登録をお願いしています。	必要な情報が届くように伝え方を工夫し、さらに改善していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	契約書や個人ファイルは鍵付きの棚で管理しています。顔など個人が特定できそうなものが写っている場合には加工して投稿しています。	保管や持ち出しの確認を定期化し、管理の精度を高めています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	気持ちを汲み取りながら、自分で発信できない児童にはイラストなどを用いて選択してもらっています。分かりやすい言葉で、保護者の心理状況も考えながら情報伝達をしています。保護者とは国籍や家庭状況を踏まえ、メッセージなども取り入れながら連絡をやりとりできるようにしています。	伝達手段の選択肢を増やし場面に応じた関わりが出来るよう職員の共通理解を深めます。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	地域に出かけることはありますが、招待することはないです。	地域との接点をさらに広げ、社会参加の経験を豊かにしていきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	指導案を用意し、全体で共有・確認を行い実際に訓練を実施。その後振り返りをして情報をまとめています。	今後も定期的にマニュアルの見直し・修正を実施し、様々な状況の想定をした訓練を実施していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的にさまざまな災害を想定した訓練を行っています。	想定幅を広げた訓練を取り入れ、緊急時に迷わず動けるよう手順を共有・実行できるようにしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	入所時に現状調査票を記入してもらっている。情報を職員間で共有しています。利用日に服薬がある場合には薬の説明書を共有してもらっています。	確認のタイミング・記録方法を統一し、漏れがないような仕組みを整えていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者にアレルギーについて記載してもらい給食・おやつで気をつけています。	都度アレルギーに変化がないか確認し、給食・おやつ提供時には成分表などの確認を実施していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	研修や訓練を受け、振り返り安全に配慮して支援を行っています。危険がないよう、事前に原因をみつけ、対策を立てています。	安全管理について定期的に話し合い、安全計画の見直し・修正を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	緊急時の連絡方法を周知し試していただきました。訓練時にはLINEで情報共有を行っています。	不安や疑問を残さないために、保護者への説明・資料の配布をして丁寧に確認するように改善していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットがあった場合にはシートに記載し、全体で共有。再発防止に向けて検討しています。	繰り返さないためにヒヤリハットの内容、起こった背景を明確にし振り返りを行っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修を受講し、どんなことが虐待となるのか再確認し、日々の生活の中で意識して支援を行っています。	研修内容を日常の関わりに落とし込み、適切な対応を心掛けて支援していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束についての研修を実施しています。組織的な協議を重ねて子どもの尊厳を守る視点から慎重に判断しています。	判断の根拠や代替手段を整理し、職員間で共有しながらより適切な対応に繋げていきます。